

2019年
12月号
NO.0088

カトリック笹丘教会
教会ニュース

福岡市中央区笹丘1-16-1
Tel761-4504 fax761-4524
広報委員会

福岡教区 2019年の目標「信じる喜びから伝える喜びへ」

主を待ち望む



主任司祭 遠山満

先月、教皇フランシスコが来日され、私達は沢山の喜び、希望、励ましを頂きました。教皇の滞在期間は、4日間でしたが、大変密度の濃い時間を私達と共に過ごして下さいました。それは、教皇の来日に先立ち、多くの人々が時間をかけて準備をして下さった、その成果とも言えるかと思います。教皇の来日に伴い、私達は沢山の恵みを頂きましたが、それと共に沢山の課題も頂いたような気が致します。教皇を通して与えられた沢山の恵みを思い起こしながら、与えられた課題に、これから共に取り組んでいく事ができたらと思います。

ところで、教皇が発たれた後、あるニュース番組で、教皇の役割について、レポーターが、ある大学の先生に尋ねていました。その先生は、「橋渡し役をされていると思います」と答えていました。私は、この言葉を聞いた時、首相が「我が国は、今後とも、核保有国と非保有国との間の橋渡し役を務めて参ります」と言われた、あの言葉を思い出してしまいました。「この先生は、教皇と首相が、同じ思いを持っていると言う事を表現しようとしているのだろうか」と、一瞬疑念を挟んでしまいました。

それにしても、同じ橋渡し役を果たそうとしているとしても、何故、両者の言葉の響きには、こうも格差があるのだろうかと考えてしまいます。何が違うのだろうか。その答えは、教皇が、若者との集いの中で強調された、「誠実さ」ではないでしょうか。如何に私達が大志を抱いていたとしても、誠実に欠けるならば、抱いている大志は成就し得ないと言う事です。この事は、次の世代にも伝えて行くべき事です。

教皇は、誠実な方ですが、イエス様は、もっと誠実な方です。聖書には、次のように記されています。「私達が誠実でなくても、キリストは常に真実であられる」(Ⅱテモテ2章13節)。「誠実な方、死者の中から最初に復活した方、地上の王達の支配者、イエス・キリストからの恵みと平和があなた方にあるように」(黙示録1章4~5節)。「アーメンである方、誠実で真実な証人、神に創造された万物の源である方」(同上3章14節)。私達は、この方が再び来られる事を信じ、待ち望んでいます。私達は、世の終わりまで生き延びる事はないかと思いますが、少なくとも私達の人生が終わった時、イエス様に会います。その時の為に、準備をする思いを持って、この待降節を過ごして参りましょう。

「レジオマリエ」をご存じですか？

第4回

今回は、レジオマリエの組織について、「レジオマリエ手引書」より、紹介させていただきます。

組織の種類と名称

プレシディウム	praesidium	一活動グループの名称
クリア	curia	二つ以上のプレシディウムによって構成される組織
コミチウム	comitium	二つ以上のクリアを管轄する組織
レジア	regia	クリア、コミチウムを統括する組織
セナートス	senatus	レジアより広い地域を統括する組織
コンチリウム	concilium	レジオマリエの総本部 (アイルランド、ダブリン市)

このような呼び方は、世界共通に使用されています。

プレシディウム名には、聖母マリアの呼び名、聖母マリアに与えられた称号、聖母マリアのご生涯の一つの出来事などを用います。

例えば、「あわれみの聖母」「無原罪の聖母」「カナの聖母」など・・・。

※現在、福岡・佐賀地区(福岡クリア)には、6つのプレシディウムがあります。(Pr.は、プレシディウムの略称)

1. 「平和の元后 Pr.」(佐賀教会内、1948年設立)
2. 「喜びの聖母 Pr.」(高宮教会内、1952年設立)
3. 「聖寵の御母 Pr.」(光丘教会内、1956年設立)
4. 「無原罪の御宿りの聖母 Pr.」
(笹丘教会内、1991年設立 ※1977年設立のPr.と合併)
5. 「レジナ・パーチス Pr.」(鳥栖教会内、2007年設立)
6. 「キリスト信者の助けの聖母 Pr.」(小郡教会内、2010年設立)

各組織に、指導司祭と役員がいます。原則的に、プレシディウムは週1回、それ以外の組織は月1回集会を開きます。各組織は、プレシディウム及び所属組織が、レジオマリエの精神に沿って運営されるように支援します。また、プレシディウム間の交流と一致を図り、レジオマリエの発展のために努めます。

次回は、国内におけるレジオマリエの組織図をご紹介します。

七五三祝い 11月10日



おメダイと千歳飴がたくさん用意されていました。

該当する年齢の子供達を祝福しました。



神様もお母さんもそばにいます。安心して前へ出ました。



おメダイが一人一人にかけられました



千歳飴を頂きました。いただく姿勢がいいですね～。

クリスマスバザー 12月8日



力作ぞろい！
展示も工夫されていました。お見事！



春のバザーがなくなったので今年のクリスマスバザーは食堂メニューも増やしました。。

スタッフは惜しみなく働きました。



オープン時は今年も超満員！

メニュー表	
お汁セット	300円
おにぎり	300円
せんべい	250円





『キリストの家族』



— 第1回目はMさん親子です —

〔5班〕 ベルナデッタ

クララ

私は教会近くの病院で栄養士として働いています。娘は高校2年生です。

私がか子供の頃、地元の公民館に優しいおばあちゃんがイエス様のお話をしに来ておられたのですが（市内のカトリック幼稚園の方と聞きましたが…）、毎週楽しみに時間もあつという間に過ぎてしまうほど、話に聞き入ってうれしい気持ちだったのを覚えています。

それから何十年か経ち、ある日偶然笹丘教会の前を通りかかり掲示板の「キリスト教講座」を見て、迷いながら入口すら分からない中、当時まだ小学生だった娘を連れて初めて教会を訪れ、2014年に洗礼の恵みにあずかり今に至ります。今後ともよろしく願いいたします。

ご案内

家族紹介を始めることになりました。内容は自由です。教会の事、家庭の事、お仕事、趣味、将来の夢、信仰について等々。
お声掛けさせて頂いた際は、差し支えなければご協力頂けると幸いです。

広報委員一同

お知らせ

教皇様来日長崎球場でのミサの記事を号外で出します。12月発行予定

編集後記

クリスマスが近づくとつれ、この一年の喜びは勿論の事、失敗、恥ずかしさ、惨めさ、痛み…これらは神様からのプレゼントだったのだと思う様になった。

聖ベルナデッタの言葉が心に響いた。『私の魂よ、喜びなさい。何もし得ない無力さのうちに隠れてとどまること、それは、イエスの姿にあやかることです！…』

『ご誕生後のイエス・キリスト。わたしは、マリアとヨセフとともに主を見つめます。しかし、なんという有り様！ 飼葉桶！ いやしさ、赤貧、苦しみ。』

ベルナデッタは、ルルドで“マリア様を見た少女”として世間の注目を浴びたが、本人は隠れる様に修道院に入り、様々な苦しみに耐えながらも、ひたすら愛と謙遜に生きるよう努めた。「私は主のはしためです」というマリア様のお言葉を絶えず繰り返しながら……。

今年、子供の初聖体が、私の大きな喜びだった。救い主イエス・キリストを絶えず見つめ、希望と喜びの内にクリスマスを迎える事ができます様に。△